



校長室だより 19号

中島 悟

【キャッチフレーズ】

未来に残そう 伝え築いた 振徳商業
目指せ 三種目 日本一 !

【今週の行事】 7月14日(水) 午前中授業、職員会議

16日(金) ボランティアの日

第92回野球選手権宮崎県大会 開会・第2試合

17・18日(土・日) 思い出づくり「『結』～こころのアルバム1ページ」

クラスマッチ、看板づくり、キャンプファイア、親子バレーボール等

『三部門制覇』 宮崎県初の快挙!! (平成22年度)

宮崎県の商業に関する競技大会で、三部門を同時に制覇した学校は、
日南振徳商業高校が初めてとなる快挙である!!

元気の出るニュースだ!! 九州・全国大会でも活躍してもらいたい!!

平成22年度 商業に関する各種競技会結果(上位大会へつながった競技)

- ① 宮崎県高等学校珠算・電卓競技大会 団体優勝
- ② 宮崎県ワープロ競技大会 速度の部、技能の部 W団体優勝
- ③ 宮崎県簿記コンクール 団体優勝

① 珠算・電卓競技大会優勝 (部顧問 有衛ゆかり)

珠算競技大会 : 団体の部 優勝
個人の部 優勝 井手 希

電卓競技大会 : 団体は人数不足のため出場せず
: 個人の部 優勝 坂元 美沙樹

◎ 珠算競技大会は、本校(3年生)と日南振徳高校(1・2年)との合併チームで出場

※ 珠算競技大会は、本校にとって5連覇となる快挙である。

※ 全国大会出場(千葉県)、九州大会(鹿児島県)

② ワープロ競技大会W優勝 (部顧問 住友庸祐、中村りつ子)

速度の部 : 団体の部 優勝(佐藤麻衣、原口直也、前田志織)
個人の部 1位 佐藤麻衣【正確賞】
3位 原口直也

優良賞 前田志織、徳島知枝

技能の部 : 団体の部 優勝(神山美沙希、倉本愛美、徳留夏鈴)
個人の部 2位 神山美沙希、倉本愛美
3位 徳留夏鈴

- ◎ 速度の部の団体優勝は、都城高校の9連覇を阻止しての優勝。本校にとっては、2回目の優勝である。
- ◎ 技能の部の団体優勝は、本校にとっては3回目である。
- ※ ワープロ競技で、速度の部・技能の部のW優勝は、13年前に小林西高校が達成して以来、本校が2校目となる快挙である。
- ※ 全国大会出場（東京）、九州大会（沖縄）

③ 簿記コンクール初優勝

(部顧問 宮本 稔)

団体の部 : 優勝 (福田晴香、金丸麻子、河野愛菜、中嶋奏恵)
 個人の部 : 2位 河野愛菜、福田晴香
 3位 金丸麻子、中嶋奏恵

- ◎ 簿記コンクールは、宮崎商業高校の10連覇を阻止しての優勝である。
- ※ 団体優勝は、本校にとって初めてとなる快挙である。
- ※ 個人でも上位6名の中に部員4人全員が入り個人表彰を受けた。
- ※ 全国大会出場（東京）

【寄稿 簿記部顧問 宮本稔】

2年生当初から部員たちは、日商簿記検定2級合格と簿記コンクールでの入賞を目指して毎日の練習はもちろん、県外の学校との合同合宿・練習会・大会等土日も返上して練習に励んできた。最初は、先輩たちと比べて自信もなく、モチベーションも低かった部員たちも日商簿記2級に合格し、合同合宿・練習会等重ねていくうちに自信が芽生え、欲がでてきたのか、意識が変わり、練習に取り組む姿勢も確実に変わっていった。そして部員たちにとって遠い夢のようだった「打倒宮商・都商！」を現実として考えられるようになったのが、コンクール3ヶ月前の春休みに行った樟南高校（鹿児島）、岩国商業高校（山口）との合同合宿や鹿児島女子高校との合同練習会から帰ってきた頃だったと思う。

しかし、コンクール当日の朝まで実際に宮商・都商に勝てると考えている部員は、誰一人おらず、みんな緊張と不安でいっぱいのようなだった。ただ、私が常々言い続けてきた「問題を解いた数はどこの学校にも負けない」「どんな問題が出題されても対応できるだけの練習は十分積んできた」という自信だけで問題に取り組んだと思う。そんな中、始まったコンクールで、第1部での失敗にも気持ちを切らさず、第2部で取り返すという、今まででは考えられない強い気持ちでコンクールを終え、結果を待った。そして『優勝』という最高の結果。学業成績自体は決してトップクラスでない部員たちが、目標に向かって一途に努力し、最高の結果を出してくれた事で、私は振徳商の生徒の底力、そして教師として生徒に自信をつけさせる事がいかに大切かを改めて痛感した。

ただここで忘れてはならないのは、振徳商の伝統の力である。保護者の方々の真摯な協力体制、学習しやすい環境・雰囲気、生徒ひとり一人の前向きな態度と自覚・・・これらは、全職員、卒業された諸先輩方、そしてこれまで振徳商で教鞭を執られた諸先生方によって創られたものである。この伝統の力無くしては、今回のような結果を得ることはできなかった。部員たちは、振徳商最後の卒業生として、この事をしっかりと自覚し、感謝の気持ちを失わずにこれからも一層精進して、これからの社会を担う立派な商業人として活躍してくれるものと信じている。